

～住民連携による野洲川河口部ヨシ帯再生モニタリング調査を実施しました～

- 琵琶湖河川事務所では、野洲川河口部のヨシ帯再生事業のモニタリング調査を河川レンジャーのコーディネートにより、平成24年度から春と秋の年2回、地元中学校（立命館守山中学校サイテック部）と連携し実施しています。サイテック部では、クラブ活動の一環としてモニタリング調査をYRPとして取り組みに協力して頂いてます。  
※YRPとは、生徒達が立案した『Yasu river Restoration Project（野洲川復元計画）』の略称。
- 今回は、5/15に事前意見交換会、5/17に春のモニタリング調査として、ヨシ帯面積調査、魚類調査他を実施しました。また、今年度から**新たな取組**として、ヨシ帯再生箇所**に繁茂するヤナギの木**に対して、中学生が考えた抑制実験を行いました。  
**（ヤナギの皮を剥ぎ、様々な試料を塗布し枯死の経過を観察）**
- 琵琶湖河川事務所では、地域と連携したモニタリングを今年度も精力的に行っています。



概要

- 実施日、場所：5/17(木)現地モニタリング調査（野洲川右岸河口部）
- 主催：琵琶湖河川事務所河川環境課
- 参加者：立命館守山中学校サイテック部 引率教員5名、生徒29名 琵琶湖河川事務所職員他 11名
- 支援者：河川レンジャー1名 河川レンジャー支援室より1名
- 内容：①GPS測定（緯度経度）を利用し『ヨシ帯を求積する繁殖状況調査』  
②ヨシ帯付近での魚類調査  
③ヨシ帯内に繁茂するヤナギの木を抑制するための実験

<位置図>



②現地調査 (5/17 13:10~16:30)

調査を始める前にライフジャケットの装着方法・安全注意事項・水難事故防止について説明



～繁殖状況調査～



～魚類調査～



～ヤナギ抑制実験～



①意見交換会 (5/15)



内容毎に班別に分かれ、調査・実験方法の復習・改善提案や反省点などが出され、討議を行いました。

<現地調査した生徒たちからの感想>

- ・教員自身河川内で転倒したときに、ライフジャケットの重要性を再度認識した。（担当教員）
- ・初めて野洲川に入ったが、予想以上にゴミが多く、汚してはいけないと感じました。
- ・ヤナギが多く生えていて、枯らすには結構労力が必要なのがあった。
- ・楽しむだけでなく何故このような調査をしているか、新しい発見を見つけて野洲川を深めて行きたい。

